

第4章

推進方針と施策体系

第1節 推進方針の考え方

第2節 推進方針

第3節 施策体系

第4節 施策の推進

第1節 推進方針の考え方

第2章で整理した現状と課題を踏まえ、環境未来都市の姿を実現するための施策・事業の効果的な推進に向けて、「ひと」、「まち」、「しくみ」の視点から推進方針を定めました。

21世紀半ばの環境未来都市の姿

みんなの「もったいない」のところが循環型社会を構築し、
自然とともに生きる 脱炭素社会を実現した スマートなコンパクトシティ

ひと

まち

しくみ

推進方針

推進方針に基づく5つの分野の施策・事業の推進

地球環境

廃棄物

自然環境

生活環境

人づくり

第2節 推進方針

ひと

1. 「もったいない」のところで行動する人づくり

- ・ 「もったいない」のところでひとやものを大切にする環境教育・環境学習の推進
- ・ 市民・事業者・行政の連携による取組の推進



2. 環境未来都市を見据えたライフスタイルの促進

- ・ 気候変動による猛暑や災害に強くエコな住環境と環境にやさしい移動手段の選択
- ・ ICTを活用したエコで快適なライフスタイルの普及



まち

3. 自然と調和したコンパクトな地域づくり

- ・ 環境負荷の少ない市街地形成の推進
- ・ 緑豊かな生活環境づくり



4. グリーンな交通システムの構築

- ・ 再生可能エネルギーによるLRTなど公共交通機関の運行
- ・ 新しい生活様式に基づく公共交通機関や自転車の利用促進



しくみ

5. 環境・経済・社会の統合的な向上

- ・ 脱炭素社会に向けた新たな環境技術の導入促進
- ・ グリーン・リカバリーの促進



6. 地域循環共生圏の構築

- ・ 地域新電力による再生可能エネルギーの地産地消の促進
- ・ 食品ロスの削減や資源化の推進による循環型社会の構築
- ・ 自然との共生に向けた環境保全の推進



第3節 施策体系

「地球環境」「廃棄物」「自然環境」「生活環境」「人づくり」の5つの分野において施策の体系を定めました。

1

地球環境

① 低炭素化の促進

(1)家庭における低炭素化の促進 (2)事業所における低炭素化の促進 (3)市役所における低炭素化の促進

② 自立分散型エネルギーの普及促進

(1)創エネルギー・蓄エネルギーの普及促進 (2)地域ポテンシャルを生かした新たなエネルギーの活用

③ 環境にやさしいまちづくりの推進

(1)環境負荷の少ない都市整備 (2)エコで便利な交通体系の構築 (3)気候変動への適応策の推進

2

廃棄物

① ごみの発生抑制・再使用の促進

(1)普及啓発の推進 (2)発生抑制・再使用の推進

② 資源循環利用の推進

(1)資源循環利用の推進 (2)各主体による資源化の推進

③ 適正な処理の推進

(1)適正な収集・処理・処分体制の推進 (2)不法投棄の未然防止・拡大防止

3

自然環境

① 生物多様性の保全

(1)生物多様性保全に関する意識の醸成 (2)生きものとその生息・生育環境の保全の推進

② 自然と共生したまちづくりの推進

(1)農地等の多面的機能の維持向上 (2)都市の緑の保全と創出
(3)水資源の確保 (4)河川環境の保全と創出 (5)良好な景観の保全と創出

4

生活環境

① 環境調査、監視等の充実

(1)大気汚染状況の監視 (2)水質汚濁状況の監視 (3)騒音振動の調査 (4)放射線や化学物質の調査

② 発生源対策の充実

(1)工場・事業場の監視・指導 (2)事業者等への意識啓発 (3)自動車排出ガス対策の充実
(4)生活排水対策の充実

5

人づくり

① 「もったいない」のこころの醸成

(1)市民総ぐるみによるもったいない運動の推進 (2)もったいない運動を取り入れたイベントの開催

② 自ら学び、自ら行動する人づくりの推進

(1)環境学習の場と機会の提供 (2)地域における環境保全活動を担う人材の育成

③ 「もったいない」のこころによる実践行動の場と機会の充実

(1)各主体による環境配慮行動の推進 (2)多様な活動主体間の連携促進

第4節 施策の推進

本計画に掲げる施策は、推進方針に基づいて推進します。また、各施策に指標（施策指標）を設定し、指標の進捗状況や施策を構成する事業の効果を把握することで、施策・事業の進め方等に適切に反映し、より効果的に施策を推進します。

なお、基本計画において掲げた成果指標については、本計画において新たに施策指標に定めたものや基本計画に基づく個別計画において別途把握が可能なものであることから、本計画では掲げないものとします。

①市民1人当たりの二酸化炭素排出量

地球環境分野において掲げる施策指標「市民1人当たりの温室効果ガス排出量」と同義であるため、別途、成果指標として掲げません。

②市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量

③「生物多様性」の言葉の意味を知っている市民の割合

それぞれ「宇都宮市一般廃棄物処理基本計画」と「うつのみや生きものつながりプラン」の改定に伴い、指標の見直しが行われたことから、各計画において進捗状況等を把握することとします。

～コラム～ 自立分散型エネルギー

1) 「自立分散型エネルギー」とはどんなもの？

東日本大震災の発生により電力供給が不安定になった経験を踏まえ、「自立分散型エネルギー」が注目されています。

みなさんが普段使用している電力は、火力発電など大規模な発電所で作られ、そこから家庭や工場などへ供給されています。

一方、「自立分散型エネルギー」は、自ら消費する電気を自ら発電するという考え方の下、各家庭などにおいて、太陽光発電設備等から得られる電気（エネルギー）をいいます。

また、発電設備とあわせて蓄電池を導入することで、更に効率的・安定的に電気を利用することができます。

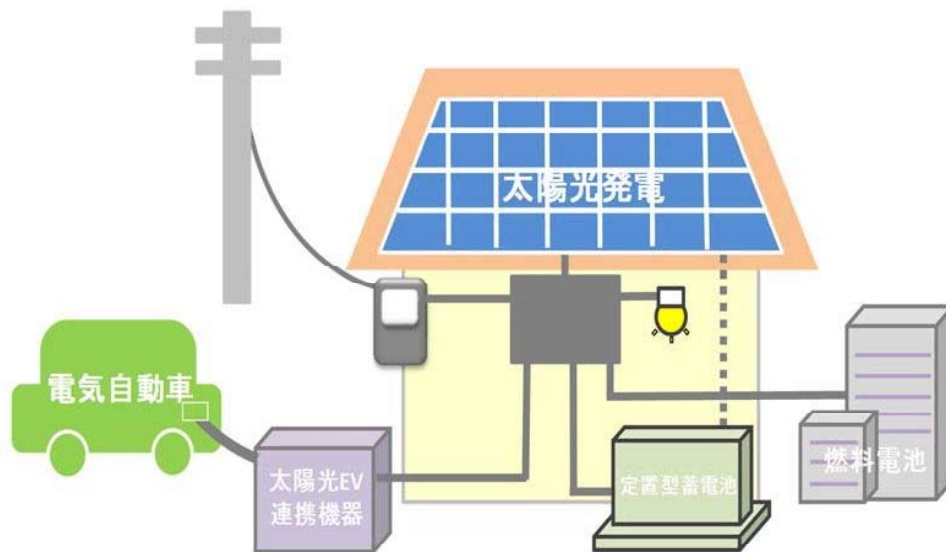
2) どんな良いことがあるの？

「自立分散型エネルギー」は、災害などにより大規模な発電所からの電気の供給が途絶えても、自らの太陽光発電設備等により電気を利用できることが最大の利点です。

また、太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用することで温室効果ガスの排出抑制にもつながります。

3) 宇都宮市ではどうするの？

家庭に対する蓄電池等の購入費の補助を通じて「自立分散型エネルギー」の普及促進を図り、災害に強く、環境にやさしいまちを目指します。



自立分散型エネルギーのイメージ